

ワンヘルスの実現に向けた 生命科学研究の推進

日時 2026年1月9日 金 13:00 ~ 17:35

場所 日本学術会議講堂 ハイブリッド開催
東京都港区六本木7-22-34

開催概要

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2026/394-s-0109.html>



参加申し込み

<https://forms.gle/X5Stqdzjqvzpgij8>



参加費
無料

参加申し込み期限
2026年1月8日(木) 17:00

プログラム

13:00 開会の辞・挨拶
岡村 康司 日本学術会議第二部会員／大阪大学大学院医学系研究科・教授、日本生理学会
高橋 雅英 一般社団法人日本医学会連合副会長(基礎部会)／藤田医科大学研究統括監理部・特命教授

第1セッション 「ホメオスタシス」

■第1部総司会
赤羽 悟美 日本学術会議連携会員／東邦大学医学部・教授、日本薬理学会、日本生理学会

13:05 ワンヘルスの現状と課題 — 国内外の動向と今後の展望
諫田 泰成 国立医薬品食品衛生研究所・薬理部部長、日本薬理学会、日本毒性学会

13:30 地球沸騰化時代の体温調節メカニズムの研究
中村 和弘 名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻統合生理学・教授、日本生理学会

13:55 ワンヘルスの視点が求められる耐性菌対策
舘田 一博 東邦大学医学部医学科・教授、日本細菌学会、日本感染症学会

14:20~14:30 休憩(10分)

第2セッション 「エクスポゾーム」

■第2部総司会
西田 基宏 日本学術会議連携会員(特任)／九州大学大学院薬学研究院・教授、日本薬理学会、日本生理学会、日本毒性学会

14:30 気候変動がもたらす健康影響:ワンヘルスの視点から
橋爪 真弘 東京大学大学院医学系研究科・長崎大学大学院熱帯医学グローバルヘルス研究科・教授、日本公衆衛生学会

14:55 新興化学物質と子どもの健康:エクスポゾームへの挑戦
池田 敦子 北海道大学大学院保健科学研究院・教授、日本衛生学会

15:20 動物の化学物質汚染と感受性

石塚 真由美 日本学術会議連携会員／北海道大学大学院獣医学研究員・教授、日本毒性学会



15:45~15:55 休憩(10分)

第3セッション 「センシング」と「デジタル」

■第3部総司会
日比野 浩 日本学術会議連携会員／大阪大学大学院医学系研究科・教授、日本生理学会、日本生体医工学学会

15:55 慢性ストレスによる副腎皮質リモデリングと破綻病態
小川 佳宏 九州大学大学院医学研究院病態制御内科学・教授、日本内分泌学会

16:20 植込み型ブレインマシンインターフェースによるワンヘルス実現にむけて
平田 雅之 大阪大学大学院医学系研究科脳機能診断再建学共同研究講座・特任教授、日本生体医工学学会

16:45 未病医科学とその数理基盤

合原 一幸 東京大学特別教授／東京大学国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構・エグゼクティブディレクター、日本応用数理学会

17:10 総合討論

■指定討論者
高橋 倫子 日本学術会議連携会員／北里大学医学部・教授、日本生理学会、日本内分泌学会

横山 詩子 日本学術会議連携会員／東京医科大学・教授、日本生理学会

■結語
赤羽 悟美 日本学術会議連携会員／東邦大学医学部・教授

17:30 閉会の辞

金井 好克 日本学術会議第二部会員／大阪大学ヒューマン・メタボース疾患研究拠点・特任教授、日本薬理学会



日本学術会議
SCIENCE COUNCIL OF JAPAN

日本医学会連合TEAM事業「ワンヘルスの実現に向けた生命科学研究の推進」

参画学会: 日本解剖学会、日本生理学会、日本薬理学会、日本細菌学会、日本衛生学会、日本公衆衛生学会、日本感染症学会、日本内分泌学会、日本生体医工学学会、日本毒性学会、日本数理生物学会
後 援: 日本医学会連合